

須坂市消防団広報紙



さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2024 11
(令和6年)

須坂市消防団ドローン隊結成!! (10月12日)

消防団は、地域の護り手として火災をはじめ、風水害等の災害現場や行方不明者の捜索と昼夜を問わず尽力をいただいております。

近年、各地で大規模な災害が発生する一方で、地域防災の要となる、消防団員の減少が危惧されており、当市においても重要な課題となっております。

これまで、様々な取り組みを進めるなか、消防団サポート事業所や機能別団員制度など地域の皆様の応援が、消防団の大きな原動力となっております。

本年一月からは、消防団に女性部が新設されており、災害時において、多様な視点のもと、活動の幅が広がるのと同時に、本年度は女性団員の活躍の場を拡充するため、国が行う「消防団の力向上モデル事業」を活用し、女性団員によるドローン隊が結成されました。

団員のそれぞれの活躍の場が広がり、やりがいと魅力ある消防団に向けて、市としても努力してまいります。地域並びに事業所の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

一層のやりがいと魅力ある市消防団を共創で

須坂市長
三木 正夫

須坂市消防団副団長を務める山本大八と申します。

四十二年間務めた消防署を令和三年三月に定年退職し、それから三年を経過した本年四月から改めて消防に携わることとなりました。

改めて気持ちを引き締め、日々過ごしているところです。

消防団員としての経験はありますが、長きに亘り火災防御、救急或いは救助活動を経験してきまして、これまでの消防経験や私自身の人生経験を糧に、いざ有事の際「疾風に勁草を知る」と言われる消防団を目指し、より活ある消防団として益々須坂市民の防災力向上に寄与できる存在となるよう、副団長と共に研鑽を重ねていくとともに、団員の皆様とコミュニケーションを図り、お互いが成長できるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

疾風に勁草を知る

須坂市消防団副団長
山本 大八

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」という思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

関 延之



音楽隊定期演奏会



市民の皆様、ご健康にお過ごしでしょうか。今年も定期演奏会の季節がやってまいりました！
皆様の温かいご支援により、当音楽隊は結成以来40年を迎え、この間、各種行事に参加し、市民の皆様にも愛され親しまれる音楽隊を目指し活動してまいりました。

今年は、市制施行70周年、音楽隊結成40周年を記念して、定期演奏会と合わせて「消防フェスタ」を開催いたします。

ぜひ、会場に足をお運びください。消防団、音楽隊一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。
今年も演奏会の模様は株式会社Goolight様のご協力のもと、生中継、生配信を行います。

♪ と き 2024年11月10日（日曜日）

消防フェスタ 午後1時から

定期演奏会 大ホール開場：午後4時

演奏会開演：午後5時

♪ ところ 須坂市文化会館 メセナホール



〔消防フェスタ〕イベント

- ・ 消火器体験、煙体験、AED体験
- ・ 消防車両展示（防火服、法被を着ての記念撮影）
- ・ 災害用非常食、防災用具の展示
- ・ 出店（ピザ、おやき、パン、から揚げ等の販売）
- ・ イベント体験スタンプラリーで防災ボトルプレゼント（数に限りがございます）

くわしくは



こちら

演奏会演奏曲目

- ・ マーチ「ブルー・スプリング」
- ・ 交響組曲「シネマ・トリロジー」
- ・ Paradise Has No Border
- ・ 伝説の「演歌」メドレー
- ・ ディズニーヴィランズ・メドレー
- 他



須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

消防団の声

消防団に入ってから

私が消防団に入団したのは十年ほど前に、知り合いから誘いを受け、なんとなく入団しましたが、今では地域の為、人の為に活動を行っていききたいと思っています。

消防団の魅力は、火災やその他の災害で人の役に立てるといふこと、防火・防災・救急救命の対応や対策を教わり訓練するということ、普通で生活しているだけではできない行動ができる事、いい先輩に出会え、笑いの数が増え、活動を通じて良い人間関係が築けることです。

これからも、地域の活動に参加し、地域の人と交流を深め、消防団から地域を盛り上げて行きたいと思っています。



第4分団 2部副部長
中村 友紀

消防団で学んだこと

消防団に入団して十六年目になります。

入団してからは様々な活動を通して沢山の経験をさせてもらいました。

年齢に関係なく仲間たちとの出会いや協力、日々の各種訓練や救命講習など技術や知識を沢山の方に教わり、歳末夜警や警鐘打鳴による火災予防活動の大切さ、そして水・火災の恐ろしさも学びました。

日頃の訓練が如何に大切か、いざ有事の際には訓練で学んだことが顕著に現れると思います。まだまだ学ぶこともありすが地域防災に役立てるよう今後も気を引き締めてまいります。

最後に、地域の安心を守り安全を作る一員であること、そして苦楽を共にした仲間と出会えた事が自分の中では何よりも大切なものだと思っています。

これからも仲間たちと力を合わせて活動に務めたく、そして新しい仲間が増えて一緒にたくさん経験が分かち合えれば嬉しいです。



第5分団 分団部長
久保田 祐貴

写真で見る消防団活動（4月～9月）



▲ラッパパレード（4月14日）
（第11分団管内 豊丘地区にて）



▲分団放水訓練（6月30日）
（第5分団 北部体育館にて）



▲須坂カッタカタまつり（7月20日）
（音楽隊パレード）



▲ボート訓練（8月4日）
（臥竜公園竜ヶ池にて）



▲ドローン講習（8月11日）
（福島グランドにて）



▲須坂市総合防災訓練（8月25日）
（北部体育館にて）

消防団員 家族の声



あらい 葵ちゃん(奥・3歳)、せな 成椰くん(手前・1歳)
10分団2部 班長
竹前 和哉さんのご家族です

地域のために
消防団の皆様、日頃より地域のために活動していただきありがとうございます。
主人と結婚するまでは消防団という組織について全く知らずにいましたが、消防活動だけではなく、地域における消防防災のリーダーとして、平時・非常時に問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な組織だということを学びました。仕事をしながら消防団の活動するのはとても大変だと思いましたが「地域のために」と活動している主人がとても誇らしいです。これからも、家族みんなで支えていきたいです。
消防団の皆さま、お体に気をつけて安全第一で頑張ってください。応援しています。

いら活なて繋甲こ恩地に動
きも動地まが斐と返域は消
す援を域するやもしのな
す。援こ密。気喜で皆お
しれ着そがび遣き様の世
てかなんしにりる話活



父:孝さん(左) 母:智恵子さん(右)
9分団 分団部長
茂木 裕貴さんのご家族です

ご家族より
消防団員の皆様、日頃より地域のために活動していただきありがとうございます。
今年は元日から大きな地震が起り、またこの夏には、山形、秋田で豪雨による大雨があり、二〇一九年に須坂市でも大雨による災害を経験したこともあり、人ごとではなく、地震に至っては、いつどこで起きるのか、改めて災害への備えの必要性を感じている頃です。
そんな自然災害を身近に感じながら生活している私達に、消防団の存在、活動は安心感を与えてくれます。
消防団員の皆様は、ご自身の日々の仕事と生活と多忙な中、私達の暮らしに寄り添った活動を代々継続してくださっていること、心より感謝しております。
この頃は、異常気象と言われている、酷暑、極寒の中の活動もあるかもしれませんが、酷暑、極寒の中、くたくたでも体調を崩されぬよう、ご自愛ください。ご活躍、陰ながら応援しております。
右も左もわからない息子に丁寧にご指導賜り、おかげさまで消防団員になつて十三年が過ぎました。
良き先輩や仲間達に恵まれ、この頃は消防団員の一人として活動する姿に頼もしさも感じられます。

消防団員 募集中

地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。

私たちと一緒に地域を守る活動をしてみませんか！
須坂市消防団では男性、女性を問わず随時団員の募集をしております。お気軽にお問合せください！

お問い合わせ
須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)
e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp

火の用心～災害への備えは万全に～

須坂市 火災発生状況

(2024年中の火災発生件数) 9月30日現在

総件数/13件

内訳

建物/3件 車両/4件 その他/6件

2024年度 全国統一防火標語

『守りたい 未来があるから 火の用心』

第第第第第第第第第第第女本音ラ副
1110987654321性部楽ッ団
分分分分分分分分分分分分分分分
団団団団団団団団団団団団団団団
長長長長長長長長長長長長長長長

市山樋村渡佐久浦中寺松徳中山佐山
川岸口石辺々保野村坂橋武村岸藤本
秀直恵一和智武大僚洋公雅大大
和弘大保幸幸史士太瞬子彦哉樹八

【編集委員】

ご協力をお願いします。
力した。今年より新たにドローン隊が結成され活動の幅も広がりました。
この他にも消防団活動に尽力して参りますので、ご支援を協力をお願いします。
し。ます。

編集後記

編集委員長

分団長会長 久保 智史